

かみなりさまに なっちゃった！

——2年生 学芸会台本——



めあて

《はいやく》

| | | | |
|-------------|--|------------|--|
| 山のかみさま① | | // ⑧ | |
| // ② | | // ⑨ | |
| // ③ | | // ⑩ | |
| // ④ | | // ⑪ | |
| // ⑤ | | // ⑫ | |
| 子供(かみなり)① | | おかしのようにせい① | |
| // ② | | // ② | |
| // ③ | | // ③ | |
| // ④ | | // ④ | |
| // ⑤ | | // ⑤ | |
| // ⑥ | | // ⑥ | |
| // ⑦ | | // ⑦ | |
| // ⑧ | | // ⑧ | |
| // ⑨ | | // ⑨ | |
| // ⑩ | | // ⑩ | |
| // ⑪ | | // ⑪ | |
| // ⑫ | | おに① | |
| // ⑬ | | // ② | |
| // ⑭ | | // ③ | |
| おもちゃのようにせい① | | // ④ | |
| // ② | | // ⑤ | |
| // ③ | | // ⑥ | |
| // ④ | | // ⑦ | |
| // ⑤ | | // ⑧ | |
| // ⑥ | | お父さん | |
| // ⑦ | | お母さん | |

• ^{なかまく}中幕をおろしておく。^{なかまくまえ}中幕前^{えんぎ}で演技。

- 山のかみさま① わたしたちは、山のかみさまじゃ！
- 山のかみさま② いつもにんげんかいのようすを山の上からみておる。
- 山のかみさま③ あれあれ、また にんげんかいの子供たちが、わがまま言っているぞ！
- 山のかみさま④ ほんと にんげんって わ・が・ま・ま！
- 山のかみさま⑤ やれ やれ こまったものじゃ。
- 子① いやいや、お母さんもっとおかしかって！
- お母さん もう、かってあげたじゃない！
- 子② お父さん あたらしいおもちゃをもっとかってよ！
- お父さん きのう、あたらしいおもちゃをかったじゃないかあ。
- 子③ お母さん もっとおしゃれなふくがほしいよ！
- お母さん それでじゅうぶん おしゃれよ。
- 子④ お父さん おこづかいをもっとふやしてよ。
- お父さん よわったなあ～。
- 子みんな もっと もっと もっと もっと。

• ^{しょうめい}かみなりがおちて照明^きが消える。

• ^{しょうめい}照明^{こども}がついて子供たちがおきあがる。

- 子⑤ あいたたた、それにしてもすごいかみなりだったね。
- 子⑥ みんな、だいじょうぶかあ。
- 子⑦ あっ、あたまのてっぺんに つのがはえてるぞ。
- 子⑧ 何ゆってんだ、おまえも大きな つのがはえてるぞ。
- 子⑨ え、…うわーほんとだ！
- 子⑩ どうしよう かみなりさまになっちゃった。
- 子みんな かみなりさまになっちゃった！

• ^{しょうめい}ギャラリーにかみさまがいる。照明^{しょうめい}がかみさまにあたる。

- 山のかみさま① はっはっはっはっ、おどろいたかな。
- 子⑪ あ、山のかみさまだ～。

山のかみさま② そのとうり わたしたちは山のかみさまじゃ！

山のかみさま③ お前たち人間は、なんでもかんでも よくばりすぎる。

山のかみさま④ だから、かみなりさまにしてやった。

子⑫ え～、おれたちみんな 人間にもどれないの。

子⑬ やだやだやだやだ 人間にもどりたいよ。

子⑭ あたらしいゲームソフトはいらないよ。

子① おかしだってよくばったりしないよ。

子② 人間にもどりたいよ。

山のかみさま⑤ う～ん、しょうがないなあ～。

山のかみさま① では、あそこに3つの がまんの山がある。

山のかみさま② 3つのがまんの山には、おまえたちのほしいものがたくさんある。

山のかみさま③ 何があってもがまんをして ぶじにむこうのまちにたどりついたら人間にもどしてやろう。

子③ ほんとうですか。人間にもどれるんですね。

子④ そんなの ぜったいにがまんできる。

山のかみさま④ じゃあ、みんなでちからをあわせて行ってらっしゃ～い。

山のかみさま⑤ 何があっても がまんするのじゃよ。

子⑤ わかりました。いってきます。

子みんな いってきます。

• ステージの照明しょうめいが消える。子は舞台こぶたいからおりてフロアあるを歩きながらひな壇だんをのぼる。

• 再びふたかみさまに照明しょうめいがあたる。

山のかみさま① 1つめのがまんの山はおかしの山じゃの～。

山のかみさま② みんなおかしはだいすき。

山のかみさま③ がまんできるかの～。

• ギャラリーの照明しょうめいが消える。

• 子はひな壇だんで台詞せりふをいう。

- 子⑥ みんな、山のぼりたのしいね。
- 子⑦ 山のかみさまは、がまんしろ がまんしろっていただけど がまんできるかな。
- 子⑧ みんな！ なんかきこえない？
- 子⑨ あ、いいにおい。
- 子⑩ あまいにおいだ。

• パネルを^{ようい}用意。

• ^{なかまく}中幕があがり^{やま}おかし山のようせいたちがおどりだす。

- おかしのようせい① はい、いらっしゃい。
- おかしのようせい② おかしの山にようこそ。
- おかしのようせい③ ここの山のおかしは何こでも きがすむまでたべられるのよ。
- おかしのようせい④ チョコレート、あまくておいしいですよ！
- おかしのようせい⑤ クッキーも人気がありますよ！
- おかしのようせい⑥ いちごのショートケーキはいかがですか？
- おかしのようせい⑦ こっちのアイスもいかがですか？
- おかしのようせい⑧ フルーツパフェもおいしいよ！
- おかしのようせい⑨ こっち、こっち！ このキャンディーもおいしいですよ。
- おかしのようせい⑩ ごちゅうもんうけたまわります。
- おかしのようせい⑪ いらっしゃい、いらっしゃい、おきやくさんいかがですか？
- 子⑪ うわあ～、たべた～い。
- 子⑫ ごっくん おいしそうだな。
- 子⑬ どれにしようか。
- おかしのようせい
①②③④ どれにします～。
- 子⑭ ちょっとまって！ 山のかみさまが がまんっていていたよね。
- 子① そうそう がまん！
- おかしのようせい
⑤⑥⑦⑧ どれにします～。
- 子② だめだめ がまん！

おかしのようにせい

⑨⑩⑪

子③

どれにします～。

だめだめ がまんして人間にもどらないとね。

子④

おかしのようにせいさん わたしたちやくそくがあるから またこんどね。

子みんな

ごめんね。さようなら。

• おかしのようにせいたちもにっこりわらっててをふる。子はフロアへおりる。

• 照明が消えておもちゃの山のよういをする。ギャラリーに照明があたる。

山のかみさま④

よくがまんしたな。

山のかみさま⑤

つぎにがまんするのはおもちゃの山だ。つぎはどうかなあ。

• ギャラリーの照明が消え、フロアに照明があたる。ひな壇で台詞をいう。

子⑤

いや～、ケーキを食べちゃいそうだったよ。

子⑥

これからもみんなでがまん！ がまん！

子⑦

はやく人間にもどりたいよ。

子⑧

こんどはどんな山なんだろうね。

• 舞台の照明が明るくなる。おもちゃのパネルに変わる。

おもちゃのようにせい①

おもちゃの山へようこそ！

おもちゃのようにせい②

いろいろなゲームソフトもよういしてあるよ。

おもちゃのようにせい③

しんはつばいがいっぱいあるよ。

おもちゃのようにせい④

しよきゅうへん、ちゅうきゅうへん、じょうきゅうへん。

おもちゃのようにせい⑤

おきゃくさんはどのレベルかなあ～。

おもちゃのようにせい⑥

よってらっしゃい、みてらっしゃい。

おもちゃのようにせい⑦

ここでしか手に入らないあたらしいゲームソフトもあるよ。

おもちゃのようにせい⑧

いま、てにいれないとあとでこうかいするよ。

おもちゃのようにせい⑨

そこのあなた、人気のカードはいかが？

おもちゃのようにせい⑩

おやすくするよ！

おもちゃのようにせい⑪

さあ さあ、どうぞ どうぞ！

• ようせいがりょう手^てにおもちゃをもって、子^こにせんたくさせる。

子⑨ じゃあ、これ。

子みんな だめ！

子⑩ やくそくをやぶったら人間にもどれないよ！

おもちゃのようせい
①②③④⑤⑥ いかがですか～。

子⑪ こんなにゲームソフトがあるならほしいよ。

おもちゃのようせい
⑦⑧⑨⑩⑪⑫ いかがですか～。

子⑫ にんげんにもどらなくってもいいよ。ゲームソフトがほしいよ。

子⑬ だめだよ。

子⑫ ほしいよ。

子⑬ だめだよ。

子⑫ ほしいよ。

子みんな うわ～。

• いいあいをして子供^{こども}どうしでとっくみあいのけんかになる。

子⑭ やめて～、みんなけんかしているばあいじゃないよ。わたしたちは人間にもどりたいんだよね。だったらみんなでちからをあわせてきょうりよくしなきゃだめですよ！

子① うん、そうだよ みんなでちからをあわせなくちゃ。

子みんな うんうん。

子② おもちゃのようせいさん、やくそくがあるからわたしたちいくね。またこんどね。

子③ さようなら。

子みんな さようなら。

• 舞台^{ぶたい}の照明^{しょうめい}が消える。子^こはフロアへおりる。ギャラリーに照明^{しょうめい}があたる。

山のかみさま① 子供たち、がんばっているなあ。

山のかみさま② がまんしているなあ。

山のかみさま③ しかし、つぎにがまんするのは、おにの山だ！ どうかなあ。

• ギャラリーの照明しょうめいが消える。妖精ようせいたちがおにの山やまのたき火びをよういする。

• 子こはひな壇だんで台詞せりふをいう。

子④ あと1つの山をこえたら人間にもどれるね。

子⑤ うん、みんな、さいごまでがんばろうね。

子⑥ いや～、なんかこの山ぶきみなかんじがする。

• 舞台ぶたいの照明しょうめいがつく。おにの曲きょくが流ながれる。

おに① おれたち、おにの山にようこそ！

おに② おれたちは日本一強いおに！

おに③ いやいや、せかい一強いおに！

おに④ いやいやいや、うちゅう一強いおに！

おに⑤ このにんげんどもめ。

おに⑥ なんでもかんでもほしがって。

おに⑦ すこしはがまんしろ！

子⑦ あ、お母さん、お父さん！

おに⑧ よくばりな人間をこらしめろ！

お母さん たすけて～。

おに① うるさい！ しずかにしろ。

お父さん やめてくれ～。

おに② やめるもんか。

お父さんとお母さん いたたたたた、たすけて～。

おに③ みんなやっちまえ～。

おにみんな お～。

子⑧ これもがまんしなくちゃいけないのか。

子⑨ そんなのできないよ。

おに④ もっとやっちまえ。

子⑩ お母さん、お父さん。

お父さんとお母さん たすけて～、たすけて～。

- 子⑪ これはがまんしてはいけない！ わたしたちのかぞくだよ！
- 子⑫ みんなでお父さん、お母さんをたすけるぞ！
- 子みんな お～！
- おに⑤ あいたたた、あいたたた。
- おに⑥ ごめんよ。もういじめたりしないよ！
- おに⑦ ゆるしてください。
- おお大きなかみなりがなる。しょうめい き照明が消える。
- 子みんな お父さん～、お母さん～。
- しょうめい あか照明が明るくなる。こども子供たちとかぞくがだきあう。
 - にんげん人間にもどっている。ギャラリーにもスポットをあてる。
- 山のかみさま④ ははははは、おまえたちよくやったなあ。
- 山のかみさま⑤ すべてがまんしたら人間にもどそうとおもっていたが さいごにじぶんのかぞくが、こまっているのは がまんすることじゃないな。
- 山のかみさま① よくぞ、ちゃんとみきわめたな。
- 山のかみさま② おまえたちのはんだんはただしい。
- 山のかみさま③ これからは、わがママをいわず、人にやさしい人間になるんだぞ！
- 山のかみさま④ そして、じぶんたちのお父さん、お母さん、
- 山のかみさま⑤ かぞく、ともだち、まわりの人たちをたいせつにするんだぞ！
- 子⑬ うん、ありがとう。
- おに⑧ ごめんね！ ぼくたちもわるかったよ。これからは人間となかよしになるよ。
- 子⑭ ありがとう！ いっしょにあそぼう！
- にんげん あそおにと人間が遊ぶ。
 - お おんがく なが終わりの音楽が流れる。
 - 「にんげんっていいな」のうたをがっしょうする。カーテンコール。